

研究開発課題名	RNA標的医薬創出に資する、RNA分子完全長に関するデータ基盤の構築	
機関名	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所	
研究開発担当者名	所属 役職	研究開発部 常勤研究員
	氏名	河合 純

① 活動状況の評価（本課題において優れていた点）

- 研究開発担当者らがこれまでに開発したヒトおよび非ヒト霊長類のゲノムと RNA のデータベース (D3G) を維持ならびに更新し、追加的にラット、ウサギ、アカゲザルに関してもデータの取り込みを実施し、カニクイザルについては国際リファレンスとして採択された。
- 更に超高性能の RNA 完全長解析技術を開発し、RNA 標的医薬の創薬に利用できる RNA 分子完全長構造のデータ基盤の構築を達成し、その結果を D3G より参照できるよう整えることで、RNA 完全長データを適用した第二世代 D3G を完成させた成果は創薬コミュニティーや研究コミュニティー活動へ貢献した。
- 国際標準にむけて着実なポジショニングを得る努力が認められ、D3G が薬事承認において利用されたことや NCBI RefSeq Database に取り入れられ、引き続き非営利の研究機関によって運営された。

② 今後の活動への期待

- D3G を適切に維持することでさらに医薬の開発に貢献することが期待でき、また RNA 完全長解析技術は疾患研究の新しい技術となり、そこから創薬標的の同定が期待でき、今後の活用可能性や更なる発展・展開が期待できる。